


市報 取り戻そう、ふるさと石巻

いしのまき

3.15
MARCH.2021
復興特集号

石巻市はSDGsを
推進しています 



活動室

大ホール

小ホール



文化芸術の新拠点が誕生

マルホンまきあーとテラス (石巻市複合文化施設)

4月1日(木)開館

マルホンまきあーとテラスは、大ホールと小ホール、活動室などを備えた「芸術文化センター」と、市が所有する美術品・文化財などを展示する「博物館」の二つの機能を持った、新たな石巻の文化芸術の中心となる複合文化施設です。

4月1日(木)に「芸術文化センター」が開館し、「博物館」は今秋開館の予定です。

現在はホールなどの一般使用の事前予約を受け付けていますが、部屋によって貸出開始時期が異なりますので、ホームページをご覧ください。

☎ マルホンまきあーとテラス

☎98-5630

📍 市複合文化施設開設準備室(内線5063)



石巻市イメージキャラクター

石巻南浜津波復興祈念公園が 3月28日(日)に開園します

「石巻南浜津波復興祈念公園」は、東日本大震災により亡くなられた方々の追悼、震災の記憶と教訓を後世へ伝承、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信を目的に、南浜地区において、国、県、本市が連携して公園や施設を整備しました。 図 基盤整備課(内線5513)



3月28日(日)
開園時間：午後1時30分～5時
通常
開園時間： 4月～9月 午前9時～午後6時
10月～3月 午前9時～午後5時

① 多目的広場

広場に一部遊具などを配置した多様な利用ができる活動空間です。

② 市民活動拠点

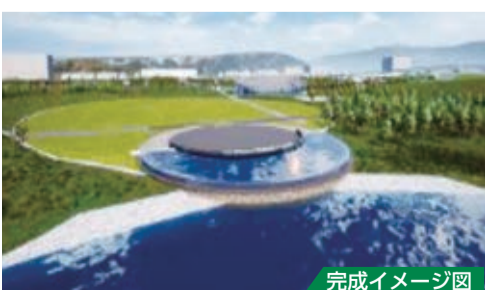
- ・がんばろう！石巻や南浜つなぐ館などの機能を移設します。
- ・市民による伝承活動など多様な主体の参画、協働の中心的な場です。

③ 池・湿地(善海田池)、松原

- ・市街地化する以前の風景であった池や湿地を再生します。
- ・かつて存在し、人々の記憶にも残っている松原(松林)を復元します。

④ 追悼の広場・祈りの場

約8,000㎡の中心的な広場です。



⑤ 一丁目の丘(築山)

公園全体を見渡せる築山です。

⑥ みやぎ東日本大震災津波伝承館

伝承館は、東日本大震災の伝承に関する展示を通して、未来に起こりうる災害において一人一人が「自らの生命は自ら守る行動」をとれるようになり、尊い命が失われることがないように、震災の記憶と教訓を伝える施設です。

図 県震災復興推進課 ☎022-211-2443

3月28日(日) 開館時間：午後3時～5時
通常 開館時間：午前9時～午後5時
※最終入館は、いずれも午後4時30分



③シアター「くり返さないために」



科学的視点とリアルな映像で津波の恐ろしさを伝えます。

②東日本大震災を知る



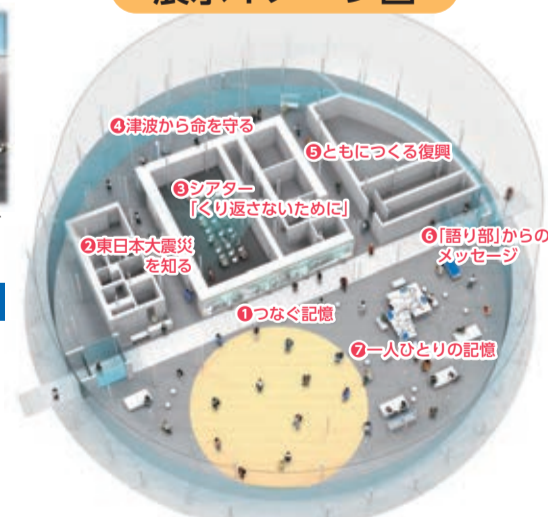
東日本大震災の概要と県内被害を伝えます。

①つなぐ記憶



津波の歴史や震災前後の記憶を通し、被災の大きさを伝えます。

展示イメージ図



⑦一人ひとりの記憶



震災当時から現在に至るまでのさまざまな立場・視点の証言を映像で紹介します。

④津波から命を守る



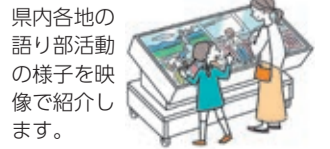
津波の歴史や津波のメカニズムを紹介するほか、被災時の人々の証言などを紹介します。

⑤ともにつくる復興



震災を経て生まれた、まちを元気にし、立ち上がらせる取り組みや施設、団体を映像で紹介します。

⑥「語り部」からのメッセージ



県内各地の語り部活動の様子を映像で紹介します。

雄勝中心部地区拠点エリア



2階大ホール

雄勝総合支所等複合施設



エントランス

雄勝総合支所等複合施設が3月22日(月)開所

体育館、艇庫は4月1日(木)供用開始

東日本大震災で甚大な被害を受けた沿岸部の再生を目指し、市が雄勝町雄勝字下雄勝の高台に整備した雄勝総合支所等複合施設が3月22日に開所します。また雄勝体育施設(雄勝体育館・多目的運動広場、雄勝艇庫)は4月1日(木)から供用開始となり、これにより雄勝中心部地区の全ての施設整備が完了します。昨年5月にオープンした硯上の里おがつの「雄勝硯伝統産業会館」と「雄勝観光物産交流館」に隣接しており、住民サービスの向上や地域活性化の新たな拠点として、大きな役割を果たしていきます。

雄勝総合支所等複合施設は、鉄骨造り2階、延べ床面積約2,316平方メートル。1階には総合支所、雄勝郵便局および社会福祉協議会雄勝支所を併設します。地域の特産品をPRするため、玄関の左右両側の外壁と雄勝郵便局側の内壁の一部には雄勝石のスレートを使用しています。

2階は雄勝公民館と図書館雄勝分館のエリアで、雄勝湾を一望する高台の立地を生かした展望テラスや、北側にある雄勝中央復興住宅前の道路から直接2階に行ける通路を設置しました。

建物は高齢者や障害者も利用しやすいように、バリアフリー構造でエレベーターも備えています。環境にやさしい自然エネルギーとして太陽光発電を導入し、駐車場は20台分を確保しています。

体育館は鉄骨造り2階で延べ床面積約850平方メートル。すぐそばには広さ2,259平方メートルの多目的運動広場も整備されます。

艇庫は鉄骨造り平屋で延べ床面積は約279平方メートル。カヌー、カヤック、サップなどを置き、市民や観光客が海上から自然豊かな雄勝の風景を楽しむことができます。

雄勝総合支所地域振興課 ☎57-2111
雄勝公民館 ☎57-3052

雄勝体育館



雄勝艇庫



石巻市 復旧・復興10年間の歩み

東日本大震災から今年で10年が経過し、市では、さまざまな復旧・復興事業を行ってきました。被災当時から現在までの取り組み・出来事について紹介します。

住まいの復興

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
3月	4月	10月	11月	12月	3月	6月	7月	7月	5月	3月
遊離所開設 住宅が多数被災	仮設住宅入居開始 全ての遊離所を閉鎖	新市街地土地区画整理事業初の起工式(新蛇田地区)	復興公営住宅(借上型)初の入居開始(松ヶ岡地区)	復興公営住宅(借上型)初の入居開始(初ノ入居開始)	新市街地土地区画整理事業初の宅地引き渡し開始(新蛇田地区)	被災者自立再建促進プログラム策定	被災者自立再建促進プログラム策定	復興公営住宅(半島沿岸部)整備完了	復興公営住宅(市街地)整備完了	みなし仮設住宅 全入居者退去 プレハブ仮設住宅 全入居者退去 湊北地区で「まちびらき」開催 河北地区(市)で「まちびらき」開催

被災当時からこれまでの取り組み・出来事



仮設住宅・復興公営住宅

▲北上中学校
遊離所は最大259カ所、避難者数は最大50,758人に達しました。

▲開設仮設地
最大でプレハブ仮設住宅に16,788人、みなし仮設住宅に15,482人が入居しました。



市街地

▲被災当時の門前地区
沿岸部の既成市街地では、津波により多くの住宅が甚大な被害を受けました。

▲新門前地区(前中)

新蛇田地区をはじめ6地区で新市街地の整備を行い、うち新蛇田南第二地区を除く5地区で被災された方の移転先となる住宅地を供給し、平成29年中に計画数1,360区画全ての宅地供給を完了しました。



半島沿岸部

▲被災当時の雄勝中心部地区
半島沿岸部では、集落ごとに高台や内陸に移転する団地の整備を急ぎました。

▲雄勝中心部地区(令和2年11月時点)

防災集団移転促進事業で整備した半島沿岸部の移転団地46地区65団地612区画は、平成29年中に全ての団地で宅地供給を完了しました。

産業の復興

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
3月	11月	12月	2月	4月	10月	12月	4月	5月	11月	11月
冠水、漁獲量が激減	漁獲量が激減	民間投資促進特区(仮設商店街)開設	民間投資促進特区(仮設商店街)開設	民間投資促進特区(仮設商店街)開設	民間投資促進特区(仮設商店街)開設	民間投資促進特区(仮設商店街)開設	民間投資促進特区(仮設商店街)開設	民間投資促進特区(仮設商店街)開設	民間投資促進特区(仮設商店街)開設	民間投資促進特区(仮設商店街)開設

被災当時からこれまでの取り組み・出来事



水産業

▲被災当時の魚市場(石巻赤場)
魚市場(石巻赤場)は、全施設(水揚げ機、海水浄化施設、管理棟)が全壊しました。また、鮎川浜の牡蠣売場と製氷冷蔵庫も被害を受けました。

▲復興後の魚市場(牡蠣売場)

魚市場(石巻赤場)全棟(全棟供用開始後)
魚市場(石巻赤場)は、高度衛生管理された日本最大級の市場として復旧しました。全供用開始した平成27年には、水揚げ量がほぼ震災前と同水準となりました。



農業

▲被災当時の雄谷地区
市全体の農地のうち、1,771haが冠水しました。

▲トマト
平成28年8月に次世代施設園芸宮城拠点が完成し、同年11月より出荷が開始されました。

▲復興後の雄谷地区
平成30年5月に、次世代の農業従事者を育てる「農業担い手センター」が開所しました。



商業

▲被災当時の中央地区
石巻港をはじめ、沿岸部に立地していた事業所などが甚大な被害を受けました。

▲復興後の中央地区
平成24年度に探索再開した日本製紙 石巻工場をはじめ、被災した多くの企業が操業を再開しました。

▲復興後の日本製紙 石巻工場
平成24年度に探索再開した日本製紙 石巻工場をはじめ、被災した多くの企業が操業を再開しました。

漁業の復興と活性化



漁業者の高齢化・担い手不足を受け、平成27年11月より「水産業担い手育成事業」に取り組みしています。年に2回の1泊2日漁師体験のほか、移住者向けのシェアハウスの整備にも取り組み、担い手の育成に努めます。

▲漁師学校の様子

▲漁師体験の様子

▲シェアハウスの様子

医療・福祉・教育の再生

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
3月	5月	10月	12月	4月	8月	1月	1月	4月	10月	2月
病院、福祉施設、学校などが多数被災	被災した全ての小・中・高等学校が仮設や間借り校舎(授業再開)	仮設夜間急患センターが業務開始	仮設夜間急患センターが業務開始	仮設夜間急患センターが業務開始	仮設夜間急患センターが業務開始	仮設夜間急患センターが業務開始	仮設夜間急患センターが業務開始	仮設夜間急患センターが業務開始	仮設夜間急患センターが業務開始	仮設夜間急患センターが業務開始

被災当時からこれまでの取り組み・出来事



医療

▲被災当時の市立病院
市立病院と併設の夜間急患センターは、1階部分が壊滅的被害を受け、全ての医療機能が停止しました。

▲市立病院
市立病院は平成26年に竣工し、機材搬入などを終え平成28年9月に開業しました。



福祉

▲被災当時の夜間急患センター
被災者の健康を守るため、各避難所で健康相談を行いました。

▲まちの保健室
平成25年4月より、商業施設などで看護師による健康チェックや健康相談を実施しています。



教育

▲被災当時の吉浜小学校
市立幼稚園、小学校、中学校、高等学校16校が被災しました。

▲北上小学校開校式
一部の小・中学校では統合が行われ、北上地区では雄勝・吉浜・相川小学校が統合し、北上小学校として開校しました。

観光の復興

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
3月	7月	10月	11月	5月	11月	7月	6月	10月	8月	3月
多くの観光施設が被災	観光施設が被災	観光施設が被災	観光施設が被災	観光施設が被災	観光施設が被災	観光施設が被災	観光施設が被災	観光施設が被災	観光施設が被災	観光施設が被災

被災当時からこれまでの取り組み・出来事



市街地

▲被災当時の石ノ森萬画館
震災により、市街地沿岸の観光施設は甚大な被害を受けました。

▲リニューアールオープンした石ノ森萬画館
石ノ森萬画館は、平成24年11月にリニューアールし、再開しました。



半島沿岸部

▲被災当時の雄勝伝統産業会館
半島沿岸部の観光施設は、津波により甚大な被害を受け、休館を余儀なくされました。

▲サン・ファン館
サン・ファン館は、復元船サン・ファン・パオティスタが修復され、平成25年11月に営業再開しました。



イベント

▲川開き祭りのメイン会場となる立町地区
川開き祭りのメイン会場となる立町地区も、甚大な被害を受けました。

▲ソール・ド・東北
平成25年度より10年連続を掲げ開催しており、平成29年には復興コースが新設されました。



テープなどを使い避難スペースを確保

コロナ禍でも万全な避難所に

石巻市防災士協議会 市と共催し初の開設訓練

コロナ禍における安全で円滑な避難所の開設と運営を目指し、石巻市防災士協議会は2月21日、市と共催した初めての避難所開設訓練を市河北総合センター「ビッグバン」で開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、消毒や検温を徹底した避難者の受け入れ、3密回避を考慮した避難スペース確保などの各種訓練を行い、大規模災害の発生に備えました。

訓練には石巻市防災士協議会と市河北総合支所の職員ら約80人が参加。「夕方に非常に強い台風が本市に接近する可能性が高まった」との想定で、8班で編成した参加者を2グループに分けて実施しました。

アリーナでは、ロープやテープを使って2班4方の避難スペースを線引きし、そこに仕切りのパーティションや屋根付きテントを設置したり、素早く撤収したりする訓練に取り組みました。ロビーでは消毒・検温、受け付け、問診・発熱対応の各係を配置し、次々に訪れる避難者を円滑に受け入れる訓練などを本番さながらに行いました。

石巻市防災士協議会の井上達彦会長は「コロナ禍での避難所開設は、従来とは違う発想やより多くのマンパワーが必要になります。今後は行政と連携した開設訓練を他地区でも開催し、市内全体に災害に備える体制を構築したいです」と話していました。



手際良くパーティションを設置



テントなどを簡単に収容する方法も指導



検温や消毒など感染対策を徹底



担当者の説明をしっかりと聞く参加者

☎ 危機対策課(内線4312)

日頃からの災害の備え

非常持出品一覧(チェックリスト)

災害時に備え、非常食・飲料水、貴重品、救急医療品、懐中電灯などを各自で準備しましょう。非常持出品は各ご家庭によって異なりますので、家族で良く話しあって揃えましょう。

■非常持出品(例)



■あると便利なもの(東日本大震災のときに役に立ったリスト)

- ◆飲料水(砂糖の少ない飲料:甘いものが渴きやすい)
- ◆医薬品など(とげ抜き、目薬など)、お薬手帳
- ◆赤ちゃんのいる家庭ではミルク、ほ乳瓶、紙おむつなど
- ◆日用品
 - 入れ歯、老眼鏡(代替が難しい)
 - ウエットティッシュ(止血、洗浄など)
 - 油性ペン(連絡、伝言など)
 - 粘着テープ(散乱ガラス除去など)
 - ビニールシート(防寒、防水など)
 - キッチン用ラップ(止血、防寒など)
 - ゴミ袋
 - スリッパ、洗面用具
 - 使い捨てカイロ
 - カセットコンロ
 - 紙コップ、紙皿
 - 予備の眼鏡

>>登録している方、大変増えてます!<<

避難情報をしっかりキャッチ / LINE に対応

災害メール

を登録しよう!



これまでは…
暴風雨により…

- 防災無線の音声が聞こえにくい
- 聞き逃してしまった など…

これからは…

防災情報は音声から文字へ

- 文字だから、聞き逃しなくしっかり確認
- ※避難所開設、冠水情報など
- 大雨警報などの気象警報も配信
- 新型コロナウイルス感染防止対策情報や災害に関する手続きも配信

メール登録 登録方法は、お手持ちのスマートフォンや携帯電話から

LINE登録 登録方法は、お手持ちのスマートフォンから

t-ishinomaki@sg-p.jp
空メールを送信

送信後、ご案内メールが届きますので案内に従い登録してください。届かない場合は[t@sg-p.jp]からのメールを受信できるようにメールの設定変更が必要です。

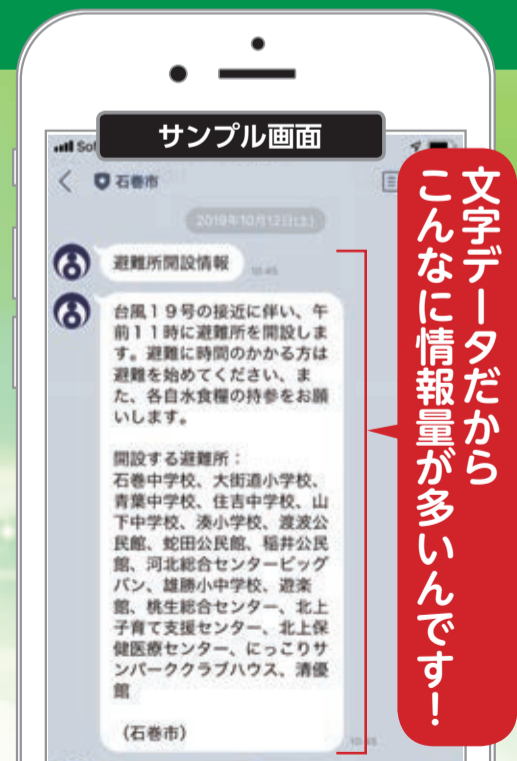


↑QRコードはこちらからどうぞ

公式アカウント
「石巻市」を
友だち登録



↑QRコードはこちらからどうぞ



文字データだからこんなに情報量が多いんです!

電話で確認したい方へ

防災無線の放送内容を電話で確認できます!

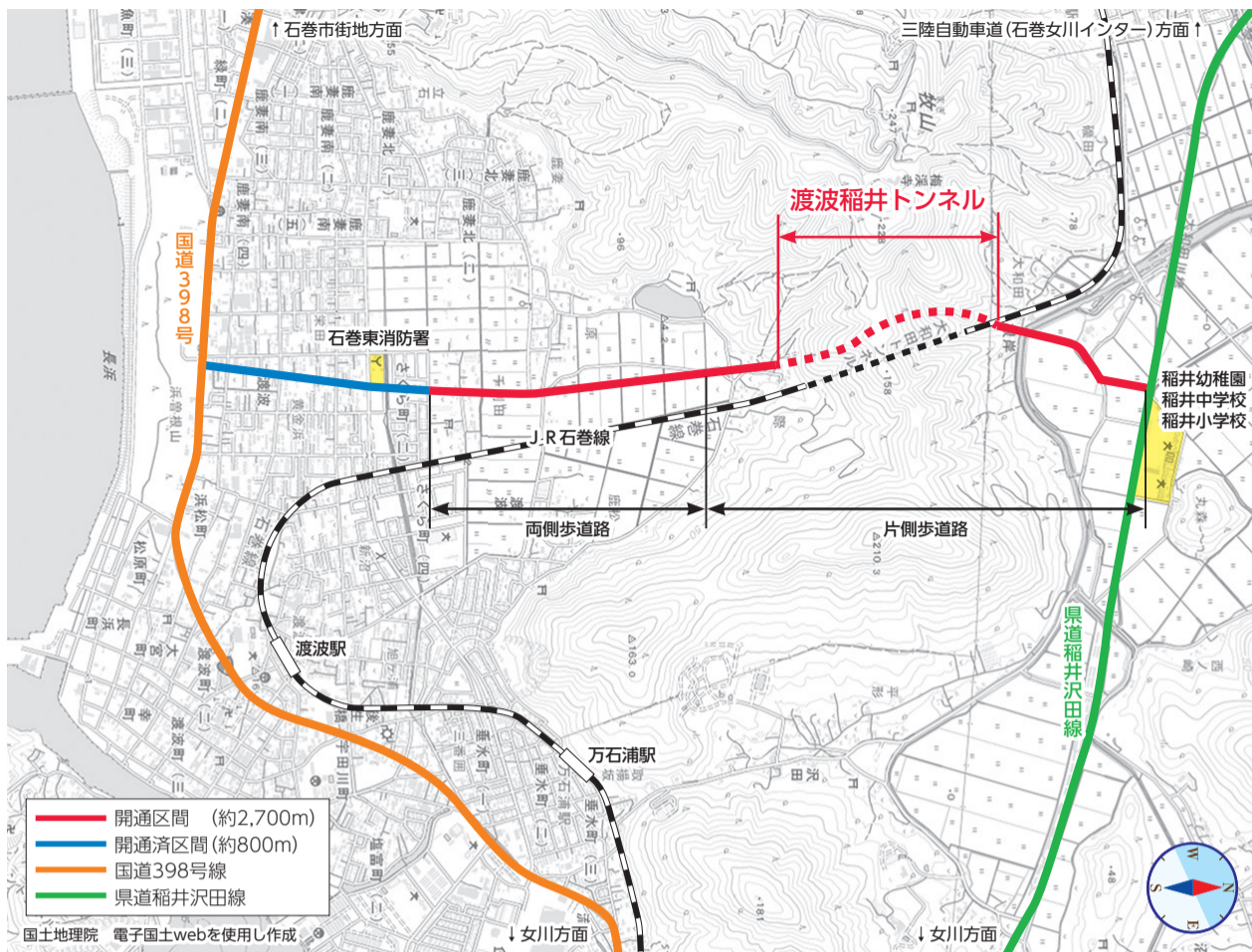
災害情報テレホンサービス

☎ 0180-992-506

☎ 危機対策課(内線4316)

渡波稲井線全線開通のお知らせ

開通区間 渡波字新千刈～真野字東谷地
開通日時 3月30日(火) 午後3時～



都市計画道路「渡波稲井線」が3月30日(火)に全線開通します。
 渡波稲井線は、渡波地区の国道398号と稲井地区の県道稲井沢田線を3本の橋とトンネルで結ぶ全長約3.5キロの路線で、山間部の「渡波稲井トンネル」は、延長698m、幅10.75mで、上下各1車線の車道と片側に歩道を整備しました。
 全線開通により、水産加工業が集積する渡波・魚町地区と三陸自動車道とのアクセスが向上し、物流の強化や地域住民の利便性向上が図られるとともに、災害時には沿岸部から内陸部への避難路および緊急輸送路の役割も担う災害に強い道路ネットワークが構築されます。
 図 都市計画課(内線5626)

矢本門脇線「定川復興大橋」開通のお知らせ

開通日時 3月23日(火) 午後3時～

都市計画道路「矢本門脇線」は、東松島市矢本地区と石巻市門脇地区を連絡する主要幹線道路(延長3.98km)で、定川を新たに横架する「定川復興大橋」が完成し、3月23日(火)に全線開通します。

石巻圏域内の安全・安心な交通を確保し、石巻港からのアクセスの向上により物流強化が図られ、産業が活性化されるとともに、住民の利便性向上や地域交流の活性化が期待されます。

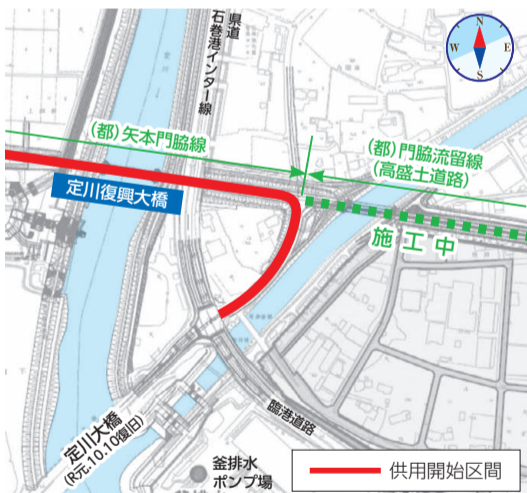


図 県東部土木事務所 ☎94-8786

石巻工業港運河線一部区間供用開始のお知らせ

都市計画道路「石巻工業港運河線」のうち、今年度内に工事が完了する区間の通行を開始します。
 残りの区間も、早期完成を目指し工事を進めていますので、ご理解とご協力をお願いします。

開通区間 大街道南四丁目～大街道西一丁目
開通日時 3月30日(火) 午前10時～



図 都市計画課(内線5614)

夜間通行止めのお知らせ

主要地方道石巻河北線(住吉町一丁目)の下水道工事に伴い、一部区間を夜間通行止めによる交通規制を行いますので、迂回路をご通行ください。
 ご理解とご協力をお願いします。

規制期間 3月22日(月)～令和4年3月31日(木)
規制内容 夜間通行止め(午後11時30分～翌朝5時30分)

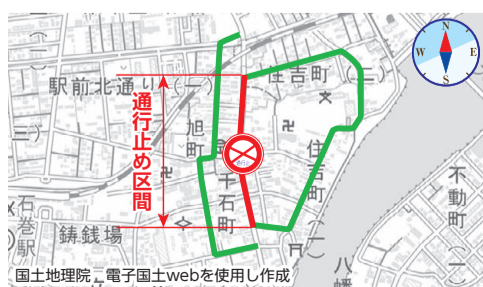
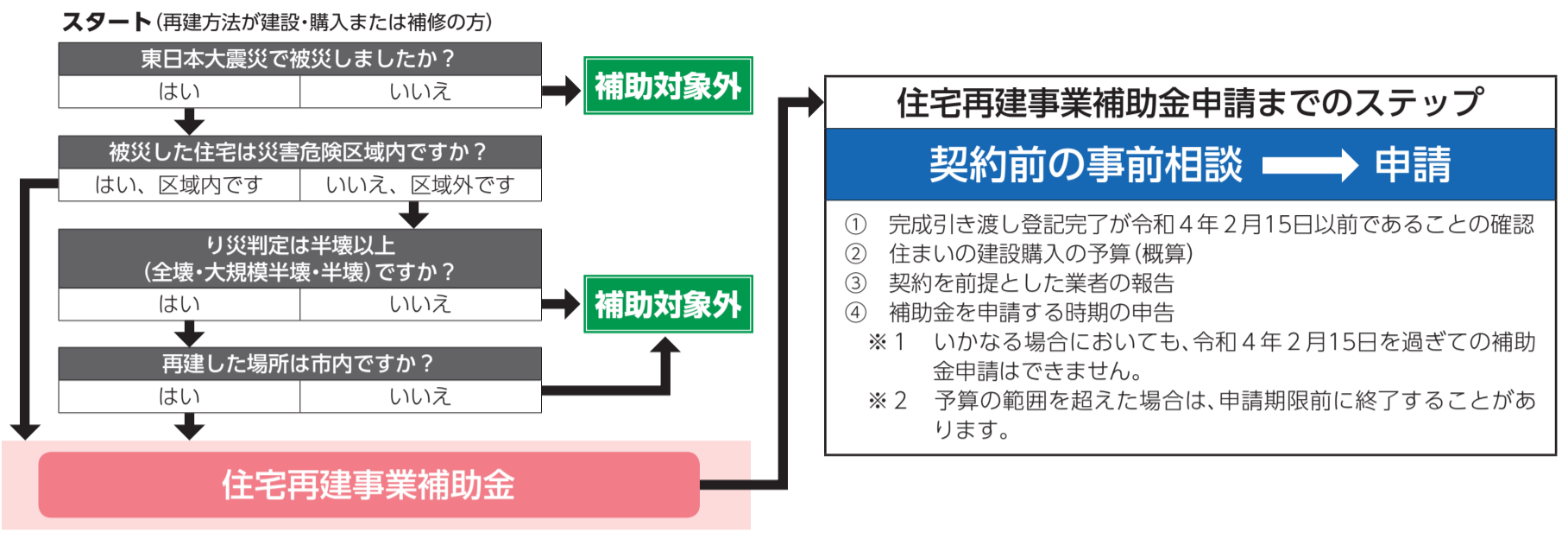


図 下水道建設課(内線5718)

東日本大震災で被災された方を対象とした住宅再建支援事業

東日本大震災により被災した住宅の復興のため、住宅を再建される方に住宅再建費用などの一部を補助します。

〈住宅再建における補助対象判定〉



※復興公営住宅等移転(引っ越し)補助金を受給後に住宅を再建した場合、差額申請(市内再建のみ)を受けることができます。詳しくは問い合わせください。

東日本大震災被災者住宅再建事業補助金

事前相談期限：令和3年8月31日

申請期限：令和4年2月15日

1. 対象者(以下の全てに該当する方)

- 東日本大震災により全壊、大規模半壊または半壊のり災判定を受けた住宅、または東日本大震災の発生時(平成23年3月11日)に災害危険区域にある住宅に自己または親族が居住していた方
 - 市内(災害危険区域で被災された方については市外でも可。ただし、復興公営住宅入居後は市内のみ可)で被災住宅に代わる住宅の建設もしくは購入を行った方、または被災住宅の補修を行った方で再建した住宅に居住する方
 - 市税など(市民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税)に滞納がない方
 - 暴力団員などでない方
- ※他市町村で被災し、本市に転入する方(詳しくは問い合わせください)

2. 補助金の額

建設または購入	
利子補給補助	取得費用補助
上限額444万円	上限額250万円

+

かさ上げ費用補助 ※津波浸水区域内
上限額100万円

※津波浸水区域：「平成23年度固定資産税及び都市計画税の課税免除指定区域」

||

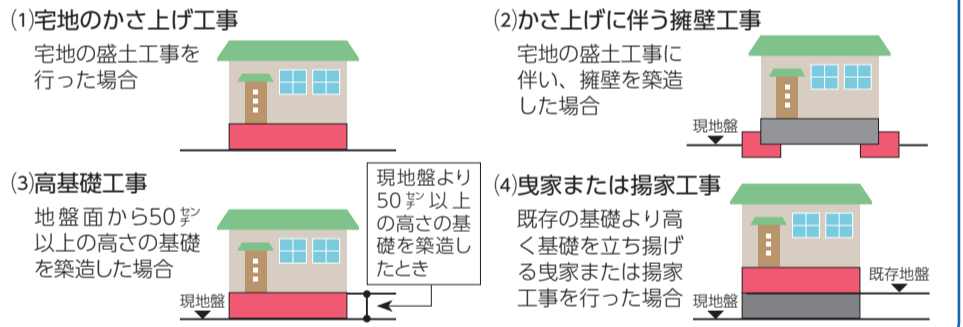
補修	
利子補給補助	補修費用補助
上限額150万円	上限額100万円

利子補給補助	取得費用補助
上限額544万円	上限額350万円

※上限額に満たない場合、上限額が78万円を限度に移転費用などを補助
※取得費用補助および補修費用補助の場合、生活再建支援金(加算支援金)などを控除した額

かさ上げ費用補助は、家屋を建設購入した方が対象

かさ上げ工事の補助対象について



3. 申請書類

○申請する方全員 ※(1)~(3)の所定様式は窓口に設置

- 東日本大震災被災者住宅再建事業補助金交付申請書(所定様式)
- 個人情報確認等同意書(所定様式)
- 市区町村税などの完納証明書等(所定様式)
- 再建した住宅に居住している全員の記載のある住民票(住民票謄本)
- り災証明書
- 費用を負担した方の住民票(費用を負担した方が再建した住宅に居住していない場合に限る)
- 費用を負担した方と被災住宅に居住していた方との関係が分かる戸籍謄本(費用を負担した方が再建した住宅に居住していない場合に限る)
- 申請する方の預金通帳の写し
- 手続きする方の身分証明書の写し
- 住宅の建設もしくは購入または被災住宅の補修に係る契約書、内訳書、請求書および領収書の写し(利子補給補助の場合は領収書の添付を省略可)
- 住宅用地の購入に係る契約書および領収書の写し(利子補給補助の場合は領収書の添付を省略可)
- 申請する方の印鑑(認印可、スタンプ印不可)

○利子補給補助を申請する場合

- 金銭消費貸借契約書の写し(特約を組んでいる場合は併せて特約書の写し)
- 返済予定明細書の写し
- 再建した住宅および購入した土地の登記事項証明書(借入状況が確認できない場合は住宅ローンの返済が確認できる預金通帳の写し)

○取得費用補助を申請する場合

- 再建した住宅および購入した土地の登記事項証明書(未登記の場合は建築確認検査済証)

○移転費用補助を申請する場合

- 再建した住宅への引っ越し代金および登記費用などの領収書の写し

○かさ上げ費用補助を申請する場合

- かさ上げ工事にかかわる設計図書(位置図、平面図、かさ上げ前後の断面図、構造図など)
- 現況写真(かさ上げ工事後の状況などが分かるもの)
- かさ上げ工事の契約書、内訳書および領収書の写し

受付時間 午前9時～午後4時 ※土日・祝日を除く **ところ** 市役所3階生活再建支援課(36番窓口) ※各総合支所では申請できません。

申請方法 電話で予約し、申し込みください。 ☎・☎ 生活再建支援課(内線4761・4762)



石巻市役所 〒986-8501 宮城県石巻市穀町14-1
☎ 0225-95-1111 FAX 0225-22-4995
開庁時間 午前8時30分～午後5時
ホームページ <https://www.city.ishinomaki.lg.jp/>

市報いしのまき 復興特集号 令和3年3月15日発行

発行 石巻市総務部秘書広報課(内線4784) FAX 0225-23-4340
編集/制作 三陸河北新報社

市のホームページを携帯やスマホでも見られます

QRコードを読み取って簡単に接続!

スマートフォン用



※機種によってはアプリが必要な場合があります。
※通信料金がかかります。
☎ 秘書広報課(内線4784)

ごみだしアプリ



電話番号案内

市役所 ☎95-1111
雄勝総合支所 ☎57-2111
桃生総合支所 ☎76-2111
牡鹿総合支所 ☎45-2111
稲井支所 ☎95-2171
蛇田支所 ☎95-1442

河北総合支所 ☎62-2111
河南総合支所 ☎72-2111
北上総合支所 ☎67-2111
渡波支所 ☎24-0151
荻浜支所 ☎90-2111